片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

目には見えない「空気」

感情に流されず、理性を保ち、「空気」を見極める

片桐英数塾通信も今号で二〇一四年九月号です。いよいよ九月です。と書きつつも、実は今はお盆です。毎月前月の十五日頃までにはあらかた原稿を仕上げてなければ配付日(二十五日頃)に間に合わず、それで九月号の原稿を書いている今はすなわち八月のお盆です。

お盆と言えば「終戦記念日」です。これまであまり「戦争」なんてことに興味もなく、もっと言ってしまえば考えたくもないものでしたので、お盆が近くなるとテレビで放送される戦争特番など、これまで見たこともありませんでしたし、ましてや戦争に関する本を読んだりすることなんてありませんでした。ところが、このところの数年というもの、自分でも不思議なのですが、戦争について知りたくなり、戦争特番を見たり、本を読んだりしています。

戦争というのは、テレビを見たり、本を読んだり、インターネットで調べてみても、やはり悲惨で残酷で悲しいものでしかありません。いろいろなことを知るたびに、吐きそうになることもありますし、涙が出そうにもなります。戦争なんて暗いものでしかありません。最近読んだ本に「戦没者約二三〇万人のうち約六割が餓死だった」と試算しているものがありました。思わず本を落としてしまいそうになりました。ということは、つまり、半数以上の方が戦ってではなく戦地で飢えて亡くなったということになります。私はこれほどの残酷を知りません。

なぜこんな悲惨な戦争をしたんだろうか。当然、戦争のことを考えていると誰しもが抱く疑問だろうと思います。本などを読んでいますと「欧米列強からのアジアの解放のため」とか「在米日本資産の凍結や対日石油輸出の禁止、ABCD包囲網による経済封鎖によりやむをえず」とか「統帥権の独立が原因だ」とか「日露戦争に勝利したことで自信を持ち過ぎていたからかもしれない」とかいろいろと原因が書かれています。

それにしても日本の戦死者数は一般人も含めおよそ三〇〇万人と言われています。被害が大きすぎます。東日本大震災で目を覆うような被害が出ましたが、その時の死者行方不明者は二万人弱だと把握しております。ケタが違い過ぎる……。

そんな被害になる前にどこかで誰かが「やめよう」とは言わなかったのか？ たぶん、そんなことを言える空気ではなかったのでしょう。

いろいろと本などを読んでおりますと、どれにも共通するキーワードが出てきます。それは「空気」です。ある「空気」が醸成されるとその「空気」に抗えなくなるようです。太平洋戦争開戦当時、日本国民は戦争が始まったことを嘆き悲しんだのか？ どうやらそうではないようで、むしろ熱狂したそうです。もちろんみんながみんなではないのでしょうが。その時、そういった「空気」が醸成されていたのだと思います。また、補給の目途も立たない無茶な作戦に臨んだ際も「空気」が影響していたようです。国民ばかりではなく、作戦を立てる側にも「空気」が影響していたようです。

これはあまり喜ばしくはないのですが、戦争に関する本を読んでいると、たいていどの本も同じように書いてあるのですが、日本人というのは「空気」に支配される性質を持っているようです。「何を言ってるの。戦争当時と今とでは空気も違うでしょ」と考えることも出来るとは思います。ですが、「KY：空気読めない」という言葉もあるように、今でも言葉では説明のしようもない、目には見えないのだけど、その場を完全に従えてしまう程の大きな力を持つ「空気」というものは、私たちの日常にも存在していると思います。戦争の「空気」と日々の生活の中で遭遇する「空気」を比べると、確かに大きさとか規模というものは全く違うものだと思います。ですが、開戦するまでのちょっとした何でもなかった「空気」が、徐々に引き帰すことのできないほどの大きな「空気」となっていったのではないかと考えると、これは私の考えですが、「空気」というものは、日常の小さいものだからと言って安心はできないように思います。

たぶん「戦争」の話なんて、今の中高生からは忌み嫌われるテーマではないかと思います。ではなぜわざわざ嫌われるかもしれない「戦争」をテーマにこの塾通信を書いているかというと、私がこの世に生を受けて以来、経験したことのないほど、キナ臭い雰囲気に、今、世の中が包まれ始めているように感じているからです。だからこそ、七十年近くも昔のことではありますが、今、「戦争」というものを見つめておき、その悲惨さをあらためて感じておく必要があるように思います。

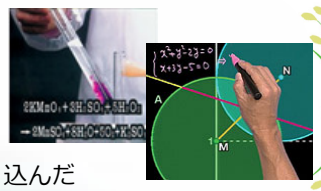
「戦争」というものを考える場合、「空気」というものを意識しておかなければならないと思います。特に感情に支配された「空気」には注意しなければならないと思います。

「空気」に支配されないためには、様々なことを学んでおかなければならないように思います。ただ単に知識として覚えるのではなく、知識を自分の血や肉として体内に取り込み、理解は頭だけでなく皮膚感覚までに落とし込むほどに学ぶ必要があるように思います。とにかく、本物の教養を、皮膚感覚で思考できるだけの本物の教養を身に着け、「空気」に支配されないようになってもらいたいと思います。

目には見えない分、意識することも難しいのですが、確かに「空気」は至るところに存在しています。特にメディア、インターネットには「空気」をわざわざ作り出そうとしているのではないかと思われるものすらあります。自分がしっかりしていないと、情報に踊らされ「空気」に支配されることになるかもしれません。

「空気」に支配されると、合理的、客観的な思考は閉ざされ、論理的なものよりも感情的な情理が優先されるようです。だからこそ、学問の基本である、合理的、客観的、論理的な思考を身につけ、さらには批判的な思考までに発展できるように、自己を研鑽して欲しいと思います。

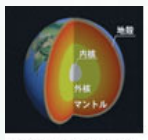
映像授業で伸ばす！！



『受験勉強の出遅れを挽回したい。』『志望校を妥協したくない！』という皆さん、映像授業を活用して志望校合格を目指そう！ポイントを絞り込んだ映像授業なら短期間での速習受講も可能。高１・高２生も早めの受験対策を！

～受講生の声～

- 高２の時からこつこつ受講しました。分からないところは、映像を止めて考えたり繰り返し見るようにしました。（R.Ｉさん）
- どの授業もすごく丁寧な説明で、基礎をしっかり固めるのに役立った。私立対策も十分に出来ました。（A.Ｓさん）
- 速さを変えたり巻き戻しできたりして自分のペースでできるので、すごく役立ってました。講師の人も面白いので何度見ても飽きなかったです。（M.Oさん）
- グラフィックスなどを用いて説明してくれるのでとても理解しやすいです。個性的で面白い先生が多いので、ちょっとした気分転換にもなりました。（K.Ｔくん）



明瞭な地図、イラスト、貴重な映像が理解・定着の効率をアップ

体験受講・受講相談
随時受付中！！

算数ＭＡＸ

『数量感覚』を磨いて、算数・数学のセンスを育成しよう！

計算問題を単なる公式やパターンで解くのではなく、数を量としてとらえ頭の中でイメージして問題を理解して解けるよう「数の性質」について徹底的に演習します。「数」のセンスを育て算数の応用力・思考力を向上させます。パズル道場とのセット受講ならさらに効果的です！

受講生募集！

開講日：毎週土曜日 13：00～14：00 or 15：00～16：00
対　象：小学生(中学生も受講可能)　受講料：6,480 円/月(税込)

パズル道場

『できなくても　考えた分だけ　かしこくなる！』

楽しみながら数学的なセンスや思考力を育てる画期的な能力トレーニングシステム

開講日：毎週土曜日 14：00～15：00 or 毎週月曜日 17：00～18：00
対　象：小学生・中学生　受講料：6,480 円/月(税込)

セット受講(算数 MAX とパズル道場)なら
9,720 円/月(税込)

パズル道場の WEB 版『B-MAT』ならば自宅でもトレーニングできます。こちらも受講生募集中！

体験・説明・受講日時のご相談等、
随時受付しております。お問い合わせは、坂本教室まで！

片桐英数塾からのお知らせ

坂本教室・天神教室の、9月のお休みは、
7日(日)，14日(日)，15日(月)，21日(日)，23日(火)，28日(日)です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

こちらの QR コードから塾の HP にアクセスすることができます。
映像授業やパズル道場などについても案内がありますので、ぜひご覧ください。

HP ｱﾄﾞﾚｽ http://www.katagirijuku.com
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ katagirijuku@docomo.ne.jp